

生活用水の使用量と使い方

手元に欧米先進国を中心に、生活用水の使用量と使い方を示すデータがあります。一人1日当たりの消費量で見ると、最も多いのがオーストラリアの241リットル(L)で、2番目が日本の224L、3番目がアメリカの220Lです。一方、調査した11カ国で一番少ないのがドイツとスウェーデンで、ともに115L、次に少ないのはオランダの128L、3番目に少ないのはデンマークの131Lです。ヨーロッパ諸国は、イギリスが151L、フランスが145Lと、日本より約4割も少ないですね。オーストラリアとアメリカは家が大きく庭も広いですから、消費量が多いのもわかる気がします。でも同じようなライフスタイルと思われるヨーロッパ諸国が、日本より大幅に少ないのはなぜでしょう。そこで家庭での水の使い方を見ました。

日本の家庭では、241Lのうち90Lが風呂とシャワーに使われています。一方、ドイツは35L、イギリスは50L、フランスは57Lと日本の4割から6割ぐらいです。シャワーが一般的ですから、湯船に体全体を浸す日本の風呂より水の使用量が少ないのでしょう。毎日のように風呂に入れるのは、豊富な水に恵まれた日本の特権かもしれません。しかし給湯のエネルギー消費も大きいので、贅沢と思われるもやむを得ない気がします。

トイレの消費量は差が小さいと思っていたのですが、日本の49Lに対してドイツは37L、イギリス45L、フランス29Lです。これは私の体験ですが、ドイツ人に鎌倉を案内したとき、トイレを使う回数が非常に少ないのに気がつきました。休憩しても、あまり水分を取りませんね。一方、パッケージツアーで海外旅行に行くと、日本人は水やお茶を頻繁に飲み、休憩のたびにトイレに行く人が多いです。

洗濯の水消費量は、日本の35Lに対して、ドイツ16L、イギリスは20L、フランス17Lと日本の約半分です。日本では洗濯を日課にしている家が多いですが、洗う量が少ないと効率が悪いので、毎日ではなく、少したまってから洗うのでよいと思います。キッチンの消費量は、日本の51Lに対して、ドイツ28L、イギリスは35L、フランス42Lです。ヨーロッパ諸国では食洗器の使用が一般的で、手洗いより水が少なく済みます。日本も食洗器がもっと普及すれば、水の使用量が減るでしょう。

出典：水道技術研究センター（2017）「水道の国際比較に関する研究」